

TAC公務員講座

早稲田大学出身者合格体験記



廣居 海人さん(22)

手厚いサポートで合格

- ＊ 出身校 早稲田大学 教育学部 在学中合格
- ＊ 受講コース 総合本科生 2020年9月入学
通学講座／早稲田校
- ＊ 最も力を
入れた科目 民法

＊ 最終合格試験種

- 東京都Ⅰ類B 千葉県
- 国税専門官 裁判所一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

就職活動を始めるにあたって、自分の適性ややりたい仕事について考えた時、長期的な視野に立って国民・住民全体のために働くという仕事の特性に惹かれて公務員を目指しました。また志望する自治体の説明会や座談会に参加して仕事への具体的なイメージを固めることで、公務員を目指す意志をより強固なものにしました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

TACを選んだ理由は、一つが大学の近くにあり、大学で授業を受けたり図書館を利用したりしたついでに立ち寄れると考えたからで、もう一つが無料体験入学でオリエンテーションを受けてみて、TACには情報力やサポート力がしっかりと備わっていると感じたからです。

TACの良かったところは、第一にホームルーム（HR）、担任カウンセリング等、講義以外のサービスも非常に充実しており、効率的な情報収集や試験対策が可能だったことです。特に過去のTAC生が執筆した面接復元シートは面接対策上欠かせないものだと思います。第二にWeb講義が充実していることです。倍速再生で受講することで1日2〜3コマの受講も可能なため、時間がない人や遅めにスタートした人でも十分追いつき、合格することができます。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

早稲田校では年明けから論文自主ゼミや面接自主ゼミ等が開催されており、なかなか対策のしにくい論文や面接の対策を効果的に進めることができます。私は論文と面接が特に苦手でした。しっかりとした対策が必要だと感じていたので、自主ゼミの存在は本当にありがたかったです。

また担任の鈴木講師による担任カウンセリングにも相当助けられました。鈴木講師は法律系科目の担当ですが論文や面接の面倒も見てくださり、的確な指摘と助言をいただけるので論文・面接が苦手な人も一気に実力を伸ばすことができると思います。

☞ TAC教材の活用法

TACの講義ノートは、講義を受けることで最大限の効果を発揮します。まずは講義を受け、必要であれば講義ノートにどんどんメモをしていくことで自分に合った講義ノートが完成し、復習する際に大きな助けになります。特に講義ノートを学習するだけでも合格点を取れる科目もあり、学習のメインになる教材だと思います。

問題集は講義で学んだことを定着させるために必要な教材です。まずは1回解き、間違えた、あるいはわからず飛ばした問題を解けるまで解きなおし、苦手を潰すことが最も効果的です。とはいえ完璧に1回転させる必要はありません。難易度Cの問題は難しければ飛ばして、直前期に試しに解いてみる、といったやり方も効果的だと思います。

☞ 公開模試の活用法

TACでは年5回の公開模試を受けることができます。得点に応じて判定も出ますが、重要なのはそこではなく自分の得意分野と苦手分野を把握することです。特に他の受験生が60%以上解けている問題が解けなかった場合は、その分野を集中的に復習する必要があると思います。私の場合は論文や専門記述の得点が周囲に比べて低いということがわかったので、公開模試後から直前まではそれらの対策を集中的に行いました。

☞ 面接試験対策

面接では志望動機や学生時代頑張ったことがメインで問われます。説明会に参加したり出先機関等を巡って実際の仕事を見て志望動機を具体化させたりすることや、サークル、ゼミ、アルバイト等に精力的に取り組むことが面接試験対策になると思います。またこれらの活動を面接で話すために言語化する必要があるのですが、なかなか言葉にするのが難しいという場合もあるかもしれません。そうした時は担任カウンセリングで相談することで解決できますので積極的に活用しましょう。

そして面接では入退室の所作や表情等も見られるのですが、これは模擬面接や面接自主ゼミ等、TACで提供されているサービスを活用することで十分な対策が可能です。面接はある意味「慣れ」が重要だと思うので、ぜひ皆さんもこれらを積極的に利用してみてください。

☞ これから受験する人へ

公務員試験はやるべきことが多く、上手くいかないことや混乱すること、嫌になることもあると思います。そのような時は近くの担任講師やスタッフの方に相談してみてください。きっと親身になって解決策を考えてくださいます。また最終的には自分の熱意がものを言うので、そこを曲げずに最後までやり抜けばきっといい結果になるはずです。